

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表【令和4年度 キッズ・わくわく】

	チェック項目	回答割合			改善目標、工夫している点など
		0%	50%	100%	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				・全員が規定の部屋に入る時間を調整している。
	2 職員の配置数は適切であるか				・時と場合によるが、職員が少ない時はドライブ等に行き、目が行き届くよう配慮する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか				・現施設では段差がある為、新施設に期待したい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか				・毎日、支援開始前にミーティングを実施し、その日の職員に広く意見を求めている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				・アンケート結果は基より、アンケート以外にも保護者から要望が出た際は検討し、改善していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				・ホームページと事業所内に掲示しているが、掲示場所がわかり辛い。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				・現在第三者評価は実施していない為、今後に向け検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				・内部研修にて、障害分野の研修や虐待防止研修を実施した他、関係機関の研修にも可能な限り参加している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				・職員にてモニタリング会議を実施し、子どもと保護者のニーズや課題を分析し、支援計画を作成しているが、一部ニーズを汲み取れていない部分も見受けられる為、改善していく。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				・アセスメントシートを使用し、ご利用者個々の特性を把握に努めている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか				・職員会議にて活動内容や、活動時の個々の支援内容を検討し、各担当に振分け、それぞれ役割を持って活動に取り組んでいる。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				・コロナ禍の為、固定した活動が多くなってしまったが、少しずつ行事も増やしていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				・平日の活動内容と、学校休業日での活動内容をそれぞれ計画し、ご利用者個々の特性に沿った活動が実施できる様、また、行事が偏らない様、曜日も考慮し設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか				・集団活動が苦手な方は個別活動が中心になるが、個別支援の中でも少しずつ集団活動に取り組める様、ご利用者の特性に応じた計画を作成している。
適切な支援の提供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか				・毎日送迎開始前に、当日の利用状況と送迎配車、支援内容等についてミーティングを実施し、支援に望んでいる。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか				・送迎終了後に集まれる場合が少ないが、時間が取れる際は行っている。また、気付いた点等は記録に残し、会話や、記録を読む事で、後日全職員で共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				・ご利用者個別のケース記録を作成し、通所日の様子を記載し、特記事項がある場合は、職員間で情報共有をし、より良い支援に繋がる体制を作っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか				・6か月に1回はモニタリングを実施し、職員間で意見交換し、支援計画の見直しが必要な場合はその都度見直しを実施している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか				・活動内容は複数組み合わせ取り組んでいる。今後もより良い支援ができる様、努めていく。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				・基本的には、児童発達支援管理責任者が参画している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				・学校からの情報は、学校からのメール配信にて得る事ができ、必要な場合は、電話での問い合わせをおこなっている。

■はい ■どちらともいえない ■いいえ

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・現在受け入れはしていないが、今後受け入れる場合は医師との連携を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	■	■	■	・現時点では情報収集は保護者さんからおこなっているが、必要に応じて関係機関からの情報収集もおこなっていく必要はある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	■	■	■	・相談支援事業所を通して、障害福祉サービス事業所に情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	■	■	■	・助言等のアドバイスは受けられる様、関係機関との連携に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	■	■	■	・現状交流は持っていない。障害の無い兄弟と一緒に芋ほり等はおこなっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	■	■	■	・自立支援協議会が開催される際は、積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	■	■	■	・連絡ノートや、送迎時に、その日の出来事等を伝える様にし、急を要する場合は電話にてお伝えしている。 ・モニタリング時は特に詳しく伺っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	■	■	■	・現時点で実施していない。今後、要望や必要性があれば検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	■	■	■	・使用者負担については契約時にしっかり説明している。また、支援の内容についても契約時に説明し、また、モニタリング時にもしっかり説明している。 ・運営規程は事業所に掲示し、閲覧できる様にしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	■	■	■	・保護者からの困りごと等は、その都度相談に応じ、児童発達支援管理責任者が主に対応している。また、他の機関との連携が必要な場合は、関係機関に繋げる様にしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	■	■	■	・保護者会は実施していないが、芋ほり等、家族で参加いただけるイベントを開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	■	■	■	・苦情担当者により、苦情が上がった際は速やかに対応できる様、ルールを作っている。また、苦情解決研修の受講もし、職員間での共有もおこなっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	■	■	■	・毎月1回おたよりを発行している。 ・法人全体の広報誌を年2回発行し、情報発信をおこなっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	■	■	■	・個人情報に関する規定に則り、十分注意している。 ・ご利用者の写真等を公表する際は、事前に承諾を得る様にしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	■	■	■	・保護者の皆様へ情報伝達する際は、しっかり伝わる様に、可能な限り、口頭と書面両方に対応している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	■	■	■	・コロナ禍の為、規模を縮小した行事でボランティアさんをお呼びした。次年度は新施設に移る予定の為、地域との交流も深めていきたい。 ・広報誌を近隣に回覧して頂いた。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	■	■	■	・各種マニュアルを職員に周知し、対応については保護者にもご協力を頂く。また、防災、感染症等のBCPの作成をおこなっていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	■	■	■	・定期的には訓練を実施し、高台へ避難する訓練も実施した。今後も継続して訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	■	■	■	・虐待防止、権利擁護研修の実施や、外部研修への参加を実施し、参加した職員から、それぞれ研修内容の報告を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	■	■	■	・やむを得ず身体拘束を行う際は、保護者に同意を得た上で、支援計画に記載すると共に、職員間での情報共有をしっかりとっておこなっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	■	■	■	・ご利用者個別情報には記載されている。職員で情報共有ができる様、徹底していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	■	■	■	・小さな事でも、怪我等に繋がる事を防ぐ為、また、他の職員と情報共有する為にも、ヒヤリハット事例が発生した際は、記載していく事とする。